

共創が生み出す新たなソリューションで、 社会に豊かな時間を提供する。

インタビュー

AIS株式会社



<https://www.aomori-is.co.jp>

〒030-0822 青森県青森市中央一丁目25番9号

- ・事業内容：ソフトウェア開発及び販売
- ・資本金：1,500万円
- ・設立：2021年3月



AIS株式会社のなりたち

AIS株式会社(以下、AIS)は、ナオヨシグループのソフトウェアを開発する会社として2021年3月に青森県青森市に設立されました。

グループ企業には運送、倉庫、観光、市場などさまざまな企業があることから、それらの知見を生かした製品開発や技術開発支援などを行っています。

青森市に拠点を置いた背景には、ナオヨシグループのデータセンター運営会社がすでに青森市にあり、そのご縁が設立のきっかけとなっています。さらに、県や市の方々からのご支援もあり、補助金制度などを利用できたことが青森市に拠点を置くことを後押ししました。地域との協力関係を築きながら、会社の成長と地域の発展を両立させることを目指しています。

現在、AISには青森に4名、東京に1名のスタッフが開発に携わっており、少人数での開発を通じて、お客様の効率的なビジネス展開のサポートを実現することを目指しています。

AISが重視するのは、常にチャレンジを続け、目の前のことを真摯に取り組み、人との共創を楽しめる人材です。技術だけでなく、コミュニケーションが重要と考え、組織内のコラボレーションを促進していく環境づくりに注力しております。

ナオヨシグループとの連携と共創の精神

AISの経営理念やコーポレート・アイデンティティは、これからの世の中にマッチし常に新しいビジネスを立ち上げられる力、考え方を追求することにあります。創造性や革新への挑戦を重視し、共創の精神を大切にしています。

またAISでは、ナオヨシグループ内外のコミュニケーションを通じて、開発提供者とユーザーが対立するのではなく、共に作り上げ生み出された創造的なものに価値があると考えています。外部のアイデアやインサイトを取り入れ、イノベーションを活発化させることを目標とし、社内では、フランクな雰囲気の中でアイデアを出し合い、共に成長していく企業風土があります。さらには、社内ブログや定期的な情報共有会議を通じて、各担当者が得た知見や情報を積極的に共有し、個々の得意分野を活かし合いながら、チーム全体のパフォーマンス向上を図っています。それは社内だけでなくお客様との関係性においても同じです。得意な分野を活かし合い、作業の効率化と時間の有効活用を実現することで、新しいアイデアや取り組みを考える時間を重視。雑多な作業に追われるのではなく、新しいことに挑戦するための時間を確保することを大切にしています。共創の精神を大切にし、社内外のコミュニケーションや情報共有を通じて、持続的な成長と共創力の向上を図っています。



AISでの社内業務風景

AISが所属するはナオヨシグループには、さまざまな業種の会社があります。AISはナオヨシグループ内の会社と緊密な連携を取り、また深いニーズや課題を探りながら、実際に開発プロジェクトを進める環境が整っています。この連携を活かし、最適な解決策を提案し、サービスのプロセスを円滑化しています。また、共創の精神を大切にし、クライアントとの密接な関係を築きながら、プロジェクトに取り組んでいます。例えば、グループ内の物流システムの開発に携わるなど、ニーズや課題に対する積極的なアプローチを行っています。

整理特化型文書管理サービス「デジチャボ」

デジチャボ (Digital Chapter Box) は、文書整理や運用管理を簡単かつ効率的に行うためのクラウド型サービスです。電子帳簿保存法に対応したソフトウェアの証であるJIIIMA認証の取得を目指しており、また標準機能「自動振り分け」機能については特許を取得しています。

これまでの業務では、複数人が同じ文書を参照したり、同じ種類の文書をいくつも作成したり、担当の裁量に任せてしまい文書保存をしていたがために、担当者以外が文書を見つけることができないといった課題がありました。また、策定した文書管理ルールを管理・運用ができる人が少ないのも課題でした。デジチャボは、これらの課題を解決するために開発されました。

デジチャボの特長としては、ITリテラシーが低い人でも使いやすいUIを持っており、システム部門がなくても利用できることです。例えば、ファイルをアップロードするだけで、請求書や領収書などは自動的に指定された適切な場所に格納され、誰でも検索可能な状態になります。さらに、スキャナーを使用して読み取った内容を自動的に振り分けます。OCRエンジンを搭載す



「デジチャボ」ホーム画面



「デジチャボ」検索画面

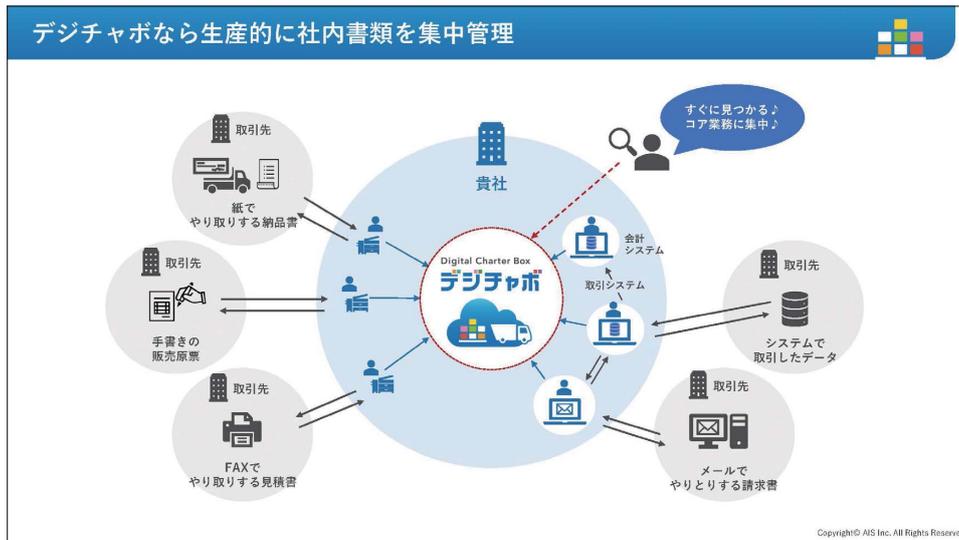
ることで、OCRで読み取った内容からも情報を格納・抽出できるようにしました。

運用に沿った保存ルールを簡単にシステム化し、誰が使っても同じように文書を自動で整理して保存することが可能になっています。

企業にとって情報のすべてが重要な資産です。業種や文書の種類に関係なく安全に一元管理し、会社内の秘密データや重要な情報を小規模事業者でも簡単にアクセスできるようにしました。例えば、震災や津波のような災害が発生した場合でも、データが失われる心配はありません。また、電子化されたデータは電子帳簿保存法に準拠し、セキュリティも確保されています。

将来的にはグループ会社だけでなく、「デジチャボ」の利用を外部にも拡大していく予定です。また、共創パートナーとして、文書を取り込むスキャナーを提供している企業や、会計ソフトウェアの開発企業、承認システムの提供企業などとの協力関係を築き、デジチャボとの連携を図ります。これにより、お互いにウィンウィンな関係を構築し、営業チャネルを拡大していきます。

すでにアライアンスパートナーとの協力を開始しており、今後もその活動を拡大していく予定です。これにより、デジチャボの市場拡大と顧客サービスの向上を図っていきます。



「デジチャボ」の概念図

JIIMA入会のきっかけ

入会のきっかけは、文書情報管理の重要性に対する認識が高まっていること、そして電子化された文書については、新たな法令に従う必要が多いことが見えてきたからです。

電帳法があり、JIIMA認証があり、デジタル文書の管理が法的要件や規制とどのように関連しているかを理解し、それに基づいた適切な管理方法についてJIIMAを通じて学びたいと考えています。さらに、文書情報管理士の資格を取得し、スキルを向上させることも目指しています。

またJIIMAには、さまざまなユーザー企業からの情報交換や成功事例の共有があるので、これらの情報を通じて、文書管理に関する課題やベストプラクティスを学んでいます。われわれも他のユーザー企業にも役立つ情報を提供することで、文書情報管理の向上に貢献できればと考えています。

文書情報管理の革新と共創

AISの製品やサービスを通じて、中小企業がペーパーレス化や電子化に関する課題を克服し、スムーズに業務を行えるようにサポートします。また、その過程でメリットを実感してもらい、中小企業が新しい技術や方法を導入する際につまずくことなく、また挫折することなく効果的に活用できることを目指しています。

AISのロードマップは大きく二つあります。一つは、文書管理に関連する運用の改善に重点を置き、行き届いていない細かなニーズや課題を拾えるサービスに育て上げていくことです。これにより、顧客のニーズに応えるだけでなく、文書管理の効率性



「『共創で未来を作る』をモットーに、日々お客様の要望に寄り添いながら、どうすればお客様の役に立つ（＝新たな時間を創る）ことができるのか挑戦していきます」

AIS代表取締役社長 園田 葉二郎 氏（左） 長尾 和也 氏（右）

や精度が向上すると考えています。

そしてもう一つは、「共創」に注力し、さまざまなベンダーやサービスとのシームレスな連携を実現することで、より高い価値を創造する基盤を構築していくことです。これにより、お客様との密なコミュニケーションやヒアリングを通じながら、効果的な方策や提案を打ち出していければと考えています。

誰でも簡単にしかも自動で文書保存が可能になることで、企業のペーパーレス化が進むと考えています。

AISはペーパーレス化などの取り組みを通じて、地域社会や環境への貢献を行いながら、持続可能なビジネスを展開します。これからもさまざまな事に取り組み、顧客ニーズに応えつつ、持続可能な社会貢献の実現を目指しています。